

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-132	12-013	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>The effects of low to moderate alcohol consumption and binge drinking in early pregnancy on executive function in 5-year-old children.</p> <p>妊娠初期における軽度から中程度のアルコール消費および過度な摂取が、5歳児の作業遂行機能に及ぼす影響</p>		
執筆者		
Skogerboe Å, Kesmodel US, Wimberley T, Støvring H, Bertrand J, Landrø NI, Mortensen EL.		
掲載誌		
BJOG. 2012 Sep;119(10):1201-10.		
キーワード		
デンマーク、小児、作業遂行能力、出生コホート研究		
要 旨		
<p>目的： 5歳における小児の作業遂行機能に対する、妊娠初期の母親の少量もしくは中程度のアルコール摂取や過度な摂取の影響を検討する。</p> <p>研究デザイン： 追跡研究</p> <p>設定： デンマーク4都市において2003-2008年に神経心理学的テストが実施された。研究対象集団はDenmark National Birth Cohortから抽出された1628人の女性と子供である。方法として、対象者に対しては妊娠初期の期間、母親のアルコール飲酒パターンのサンプルが集められた。子供が5歳のとき母親用と先生用のBehavior Rating Inventory of Executive Function (BRIEF)が、母親や幼稚園の先生によって記入された。親の教育、母親のIQは、出産前の母親の喫煙、試験時の子どもの年齢、子どもの性別は重要な交絡因子とされた。フルモデルには母親の過度な飲酒もしくは低中容量のアルコール消費量、母親の年齢、兄弟の数、母方の配偶者の有無、家族の家庭環境、出生後の親の喫煙、妊娠前の母親の体格指数(BMI)と子供の健康状態が含まれていた。 主なアウトカム指標：親や先生の記入したBRIEF</p> <p>結果： すべての潜在的な交絡因子を調整した結果、母親の低・中程度のアルコールの週平均消費量とBRIEFインデックスのスコアとの間に統計的に有意な関連は見られなかった。調整解析において、妊娠9週目以降の過度な飲酒によって、親の行動規制インデックス(OR 2.04、95%CI: 0.33から3.76)、教師のメタ認知インデックス(OR 2.06、95%CI: 1.01から4.23)のスコアは有意に上昇していた。</p> <p>結論： この研究では、5歳の時点での作業遂行機能に対する妊娠中の低・中程度のアルコール消費量の影響に関し有意な影響は観察されなかった。さらに母親の過度な飲酒と作業遂行機能との間の関連はとても弱く、一貫した関連は認められなかった。</p>		